



くまがわ



Contents

- 2P 新年あいさつ 院長
- 3P 福永ドクター記事
- 4P 福祉大会
- 5P 2病棟紹介、夜間訓練
- 6P~7P イベント紹介
納涼祭、デイケア旅行
ふれあいまつり
残りの記事はダイジェストで
- 8P 三中職場体験、保健大会
- 9P 職員旅行、愛更会

理念

地域社会に信頼される精神科医療をめざし、患者様に安全で安心される質の高いあたたかさと癒しの医療を提供します。

基本方針

- 1.満足していただける医療を行います。
- 2.快適な院内環境に努めます。
- 3.専門知識の向上に努めます。

患者様の権利

- 1.個人として、その人権を尊重される権利
- 2.自分の受けている治療について知る権利
- 3.良質の医療を受け、選べる権利
- 4.公平で差別されない医療、及び、対応を受ける権利
- 5.安心、安全な環境で治療を受ける権利

新年のご挨拶

平成26年1月
八代更生病院 理事長 院長
宮本憲司朗

職員の皆様におかれましては、昨年の今村理事長の葬儀に際しては、いろいろとお世話になりました。厳しい寒さの中、半袖の制服姿で今村先生の病院葬に参加して頂き、本当にありがとうございました。

今年から、理事長を引き継ぐことになりました。これまで同様、八代更生病院にご厚情、御支援を御願い致します。

八代更生病院の歴史は50数年になります。これまでも医療行政の変化の中で、その変化に対応して病院は存続していました。

昨年暮れに社会保障制度改革国民会議の中の医療部会で、地域医療ビジョンが示され、病床機能報告制度というものがうち出されました。地域の中での病床機能分化を通して、地域での病院機能分化が半ば強制的に割り当てられることになりそうな状況です。

医療は高度化とともに、医療費は増大し、その負担はわれわれ国民に跳ね返ってきます。また高齢者が増えると、その負担増を医療とは別枠の介護に付け替えていきます。しかし、10年後には高齢者人口も減少に向かいます。病気も慢性期で長々と医療費を掛けるより、急性期に効率よく治療して、慢性期医療はなるべく介護福祉に頼ってもらおうという国と考えではないでしょうか。

平成16年から精神科医療改革ビジョンでは精神科病床数の削減を迫っています。当院では長期入院患者の退院促進にも協力し、病院機能評価機構の認定も受け、病棟機能分化を押し進めてきました。急性期、慢性期、身体合併症、社会復帰、認知症と機能分化が進んできています。

精神疾患が5疾病5事業に組み入れられ、地域医療ビジョンでは、特に急性期医療において精神科医療が取りざたされる可能性は高いと思われます。

昨年暮れに病院機能評価機構認定を受審することに対するアンケートをとりました。受審する、どちらでもよいで半数以上となりました。これから先の地域医療ビジョンを考えると、今、病棟機能分化をきちんといないと、これから地域医療の変化に対応できなくなるおそれを感じます。

八代地域では、先駆けて病院機能評価機構認定を受けている八代更生病院は、引き続き受審すべきであると考えています。



昨年から安川副院長、阿部副院長には理事に就いて頂いております。職員の皆さんも若い優秀な方がたくさん頑張っていらっしゃいます。今後、精神科急性期医療、地域精神科リハビリテーション、精神科思春期医療、アルコール関連問題、認知症医療介護連携では元気ある若いスタッフの方々の活躍を新理事長として期待しています。

健康に関して申し上げます。職員の殆どの方は健康で働いていらっしゃいます。まだ見えない病気に対して不安に思ってもしょうがありませんし、みなさんそれぞれに、自分で考えて健康管理をなさっていると思います。

うつ病の患者さんは入院するとかなりの症状が改善します。入院して改善しない時は別の要因を考えた方がよいぐらいです。これは病院での食事、服薬、睡眠などの規則的な、ストレス軽減を考慮した、病院生活リズムが症状の改善に関係していると思われます。うつ病ばかりでなく、糖尿病、高血圧、肥満、高脂血症などは生活習慣が、その発症に大きく関与しています。

加齢に伴い、遺伝子は環境の影響、食べ物の影響、ストレスなどにより傷つけられて行きます。傷つけた遺伝子がうつ病、糖尿病、高血圧症などの発症を促進します。遺伝子を傷つけないような健康管理は睡眠リズム、飲酒を含めた食事習慣、気分転換としての運動が基本だと思います。この基本に沿って、規則的な生活でき、それと仕事ができていれば、健康管理がうまくできていると考えてもいいと思います。病気が起ると、勿論規則的な生活ができなくなってしまいます。今、ご自分が健康だと感じていれば、その生活リズムを、あえて変える必要はありません。

皆様と御一緒に健康で、この一年過ごして行きたいと思います。どうか宜しく御願いします。

■ 祖父のこと 診療部長 福永竜太

近年若者のオタク的文化の一部では、例えば飛行機や国などをアニメ調の絵でかわいらしく擬人化することが流行しているようです。その擬人化の例の一つとして、太平洋戦争時の日本の軍艦を美少女の姿にキャラクター化したネットゲームが話題になっています。そのゲームの中では、私の祖父が乗員だった戦艦が、眼鏡をかけた巫女として描かれていたのには思わず萌え失笑してしまいました。祖父がこれを見たら日本男児の軟弱化を嘆くかもしれませんし、もしくは苦笑いしてくれたかもしれません。全く結びつかない萌えと祖父ですが、これを機にどんな人だったかを偲びながら綴ってみたいと思います。

祖父は大正の末に鹿児島の農村に生まれました。先の戦争では一兵卒として戦艦霧島の砲撃部署の業務に従事しました。船は1942年に南の海に沈みましたが、祖父は幸運にも生還し婚約者であった祖母を大いに安堵させました。戦争を賛美する意図はさらさらありませんが、白い軍服に身を包んだ若かりし祖父の写真は私を大層誇らしい気持ちにしたものでした。

戦後はシラス台地のやせた土地で妻と田畠と牛を大事にして3人の息子の2人を大学に出す（なお最高学府に縁がなかった息子は私の父でした）など、身内の顛麿目を差し引いても田舎では立派な人でした。私たち孫にはよく、艦内の廁の明かりで勉強をしていた話や、祖母とのなれ初めを話してくれました。祖父の勤勉さという美德は孫である私の兄に引き継がれましたが、私についてはお察しください。私が物心ついた頃には祖父は歳六十を過ぎ頭髪も真っ白でしたが、当時としては長身の部類に入る174cmの体躯は猫背の私よりもよっぽどしゃんとしていましたし、銃剣道の師範だったこともあってか、我が家に似つかわしくない威厳をただ一人放っていたことを記憶しています。もっとも昔

は酔って激情を表に出すことも時にはあったようで、いわゆるでき婚をして帰鹿した私の両親に「そこになおれ、一刀の元に切って捨てん」などと激高することもあったそうです。霧島沈没時に失われた腰のサーベルがその時もし祖父の手にあつたら、兄と私はこの世にはいませんでした。

私が研修医をしていたころまではピンピンしていた祖父ですが、80代半ばを過ぎた頃より物忘れがにわかに進み、家で面倒を見ることが困難になりました。県外の精神科病院に入院した祖父を見舞いに行くと、私にとって我が家の象徴でありあの威風ある祖父は、車いすの上でのうなだれ小さく体を折りたたんでいました。私と叔父を誤認した祖父に話を合わせるのがみんなにつらいとはその時まで気づきませんでした。それから私はほどなく訃報を熊本で聞くことになります。享年89歳でした。（了）



第51回 精神保健福祉大会

平成25年10月18日 看護師 山下恵子

先日やつしろハーモニーホールにて、第51回熊本県精神保健福祉大会が開催されました。

その中で精神科医療機関永年勤続者への表彰があり、当院からは5名（前列左より 山下恵子、高田由美子、宮本和子、元松恵子、中村小百合）が、表彰を受けてきました。

今年は会場が八代ということもあり、院長や看護部長をはじめ当院のスタッフの方々に見守られての参加となりました。

ステージでは、最初にシンガー・ソングライターのむたゆうじ氏のステージがあり、沢山の歌を披露されました。歌の合間にご自身が関わられている福祉事業の話をされ、興味深く聞かせていただきました。

また大阪精神医学研究所の医師、菊山裕貴氏の講演では統合失調症やうつ病、発達障害などの話がありました。話の途中で難しいところもありましたが、疾患についての知識を深めることができたのではないかと思います。

今回の永年勤続の表彰者は33施設148名でした。多くの方が長年にわたり精神科医療に携わっておられる事に感銘しました。これからもスタッフの皆様と協力しながら八代更生病院の更なる発展のために努力したいと思います。



■ 2病棟紹介

2病棟は2階30床、3階30床 計60床で構成された療養病棟です。

この病棟の特徴は70歳以上の患者様が6割を占めており日常生活の援助が主になってきていますが、精神科看護についても重要で状態の安定している様に見え内に秘めている精神症状に目を向け細部に観察しなければなりません。

病気を中心に看る急性期病棟とは違い環境や家族調整等が難しく、病気以外の部分に目を向けなければならない独特の難しさがあります。療養棟でしかできない慢性期の看護を試行錯誤しながら日々努力しています。

当病棟では、入院生活技能訓練といい生活の技能を向上させることを目的とした認知行動療法も行っています。

これからも、各部署と連携を図りながら患者様、ご家族に良い治療が提供できるように頑張っていきたいと思っています。



■ 「夜間想定の救急蘇生研修」

平成25年7月20日 6病棟 本村優子

当院新人研修で緊急時の対応の研修を行いました。参加者5名は緊張した様子で指導者の話を真剣に聞き、全員一生懸命メモに取りながら学んでいました。

今回の研修では緊急時の対応を実際に行うロールプレイを中心になっており、参加者5名全員実施され、その都度質問やアドバイスが行きかい活発な研修っていました。後半は押領司医師による気管内挿管の説明がありました。

今までの先生の経験からの説明はとてもわかりやすく参考になり、「どうしてその処置をするのか」「その処置に注意する行動とは。」など、その後の患者様の回復にどのように影響するのか、今まで影響したのかを話されていました。参加者はもちろん、指導スタッフも聞き入りながら、質問しながらと、理解を深めることができました。

今回の研修で、参加者それぞれの今の自分に何が必要か、何を知っておくべきかなどを吸収できたら、研修参加後の学びで上がり、それぞれの疑問についてなどを学べた良い研修になりました。



■ 熊精フェスタ優勝!!

平成25年6月6日
第20回熊精フェスタに参加してきました。



■ ナンバー1は誰の手に!?



平成25年7月16日
室内レクリエーションをおこないました。

■ この素晴らしい世界!



平成25年7月23日
デイケア主催による
ジャズ鑑賞会が
7月23日に開催
されました。

■ デイケア旅行

平成25年9月27日
9月27日、デイケアメンバー・スタッフあわせて43名は大型貸し切りバスの車中にありました。毎年恒例となっているデイケアの日帰り旅行。今年は鹿児島県出水市の武家屋敷群見学でした。観光ボランティアによる町の歴史を聞きながら大河ドラマにもなった篤姫の実家を見学し、日本一大きなお地蔵さんにお参りしたあとでお楽しみの昼食。やわらかくてジューシーな鶏肉の鉄板焼きと卵かけご飯に舌鼓を打ちました。たた、昼食後は日本一大きな鈴のある箱崎八幡宮に参拝したりと盛りだくさんな1日でした。

単に旅行へ“連れて行く”のではなく、“自分たちの旅行をつくる”をコンセプトに患者様の中から有志を募りプロジェクトチームを立ち上げ、企画段階から参加していただきました。なかなか意見がまとまらず多くの時間と労力を要しましたが、それだけに満足の行く旅行内容になったと思います。

「熊本では見れない珍しいものや味わえないような料理を体験できた」「個人的に(出水への)旅行を計画したい」などの感想が聞かれました。

■ 夏の夜のひととき

平成25年8月6日

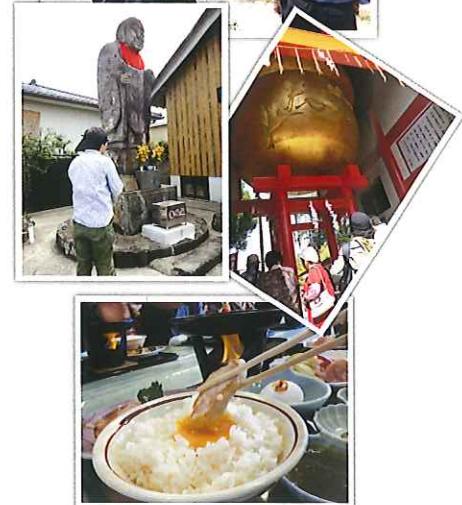
満天の星空の中の、今年も八代更生病院中庭にて納涼盆踊りが開催されました。年に一度の夜際に、患者様、スタッフ共に大いに笑い、歌い、踊りました。

院長の挨拶、カラオケから始まり、各病棟選抜でのカラオケ大会、ゲストによるフラダンスで会場は徐々に盛り上がりを見せ、スタッフバンドで最高潮を迎えるました。

すべての演目が終了し締めの、患者様、スタッフ入り混じっての盆踊りが幕を上げました。普段接する事の少ない他病棟の患者様との触れ合いもあり心温まる時間を過ごすことができました。

盆踊りも終わりを告げ、夏祭りの行程を全て終了し名残惜しくはありますが解散となりました。

会場を撤収しながら遠くで鳴くセミの声を聴き「八代更生病院の夏も終わったんだな」と感じる一夜の体験でした。



ふれあい祭り

平成25年10月19日



清々しい秋晴れの中、第15回更生病院ふれあい祭りを開催する事が出来ました。

元気で可愛いキッズダンスや、大正琴、おさな会、地域の婦人会の方々の素敵なダンス、ボランティアの方々による舞踊、当院の音楽愛好会や八代工業高校吹奏楽部による演奏など、多彩な内容でステージを盛り上げて頂きました。又、歌手の満月リョウ様にお越し頂き素晴らしい歌声を聴くことが出来、観覧された患者様、お客様からも拍手喝采がおこり、大反響となりました。

お楽しみ抽選会も、子供も大人も大喜びのゲーム機、自転車、電化製品、生活用品等の目玉商品が並び、手に汗握る大変白熱した時間となりました。協賛頂いた企業、お越しいただいた沢山の皆様のお陰をもちまして、大盛況のうちに終える事が出来ました、有難うございました。そして、来年も今年以上に患者様・地域の皆様に喜んでいただけるように、職員一同頑張ってまいります！

祝祝祝 総合優勝おめでとう

秋空の下、今年も秋季球技大会が開催されました。鏡町グラウンドに県南地区の精神科7病院が集まりました。

ゲートボールは予選1勝1敗で、3位4位決定戦となりました。6名の力を合わせて励まし合いながら頑張りましたが、あと1歩及ばず4位という結果となりました。

バレーは1セット1セット着実に点数を取つていき、なんと優勝することが出来ました！

これも、大会前の練習の成果が発揮できたこと、多くの応援者から「頑張れ！」「どんまい」との掛け声があった事が励みになり、優勝に繋がったのだと思いました。

平成25年11月6日

今回の秋季球技大会は数年ぶりの総合優勝を勝ち取ることができ、選手も応援者も手を取り合って喜びを分かち合いました。次の大会は春です、「更生病院は、強かな～。」と言われるように2連覇目標とし頑張りたいと思います。



八代第三中学校職場体験学習の講義を終えて

日程は平成25年7月9日～11日の3日間

3病棟 准看護師 牧 淳

今回、私は「車椅子への移乗と移動の介助」と「食事の介助」について話をさせて頂きました。

私自身、担当をさせて頂くことが初めての経験で緊張しながらの説明でした。学生の熱心に話を聞く姿、笑顔で演習に取り組む姿や終了時には「楽しかった」という感想も聞くことができた事でとてもやりがいを感じました。

また、他者に物事を教える難しさを身をもって知ることができ、私にとっても良い経験になりました。



3中生職場体験お礼の手紙

この3日間で特に心に残ったことは、薬剤師の仕事、看護体験、作業療法士の仕事です。薬剤師の仕事では、薬の量を間違えると少しでも間違えると死に関わることを知り、とてもすごい仕事だと思いました。

高岡 美希

この3日間でたくさんのことを学ばせてもらいました。いろんなことを体験させていただきとても楽しかったです。体験したことを見から日常生活に薬立てていきたいと思います。

今井 萌

看護体験では人と接したり、コミュニケーションをとることの大切さを学びました。

作業療法士の仕事では自分のできる仕事は、自分でやることを学びました。

平田 早稀

第9回 愛更会

平成25年10月5日



今年度は、10月5日（土曜日 12時～）セレクトロイヤルホテルにて開催されました。

今村常務、宮本院長、OBの方7名、在職者13名の22名の参加がありました。

今年度は、現在も進化し続けている更生病院の環境をDVDにして、クイズも交えながら和やかな雰囲気での楽しい時間を過しました。

おいしい料理も加わり、会話もはずみ時間のたつのも忘れてしまうような楽しい会になりました。また来年も、一人でも多くのOBの方にお会いできるのを楽しみに会を終了いたしました。



一期一会 ～沖縄職員旅行にて～

管理栄養士 二田口佳子

7月の2日間、職員旅行にて沖縄旅行に行かせて頂きました。台風など心配しましたが、幸い天気にも恵まれました。フリープランだったので各自でレンタカーを手配し、それぞれ行きたいところをピックアップしての自由行動でした。

青い空・青い海・白い砂浜！さとうきび畑！オレンジシーズンということもあり、これぞ沖縄といわれるようなすがすがしい風景の中のドライブは最高でした。

1日目は琉球ガラス皿作り・世界遺産・ハブ園とエイサーの演舞鑑賞・ニライカナイ橋へとドライブし、2日目は古宇利島（最近本土から橋がかかる離島です。）のビーチで海水浴等と満喫してきました。

特に、1日の夜は国際通りのお店で、地元の料理と沖縄民謡を堪能しました。そこでのほかのお客さんとの交流も楽しいものでした。

その後、食行動障害への栄養士に関わりにおいて3年前の精神保健学会にて演題発表をさせていただいたときからお世話になっている、沖縄在住の医学博士 吉田貞夫先生とご一緒し、ご当地ならではの有名なお店へつれていって下さいました。そこでも色々な話の花を咲かせ、なかなかお会いできない先生とご一緒し、とてもよい思い出となりました。

単にリフレッシュの為に羽をのばすだけではなく、仕事面に繋がる交流もあり、大変有意義に過ごすことができました。美味しい食べ物、美しい風景、人との出会い等体験し、心身ともにリフレッシュできた2日間でした。

第59回 九州精神医療学会(鹿児島大会)

平成25年11月7日

[前頭側頭型認知症～症状の特徴によりそって～] 3病棟 犬置 明久、藤野 博史

年々認知症患者の入院が増加しています。認知症もレビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症と4つの認知症に分類されています。今回は、前頭側頭型認知症患者の特徴を理解し、その「特徴を活かした看護」に取り組んだ事例について発表しました。

学会では、他の病院の認知症患者への取り組みや同じ前頭側頭型認知症看護への看護の実践についての発表があり、その内容を照らし合わせる事が出来た結果、より学びの深いものとなりました。また、認知症以外にもアルコール依存症患者への看護の取り組みや家族への働きかけ、うつ病患者への看護の実践内容といった発表もあり勉強になりました。

今回の取り組みや他病院から発表された内容も含めて、今後の看護に生かしていきたいと思います。



外来診療 ご案内

※精神科医が
担当します。

		月	火	水	木	金	土
午前	新来	○	○	○	○	○	
	再来	○	○	○	○	○	○
午後	予約外来					休診	

診療科目

精神科、心療内科、内科

受付時間

新来▶午前 8:30~11:30(月~金)

再来▶午前 8:30~12:00(月~土)

午後13:30~16:00(月~金)

新来は予約制で月~金曜日の午前中のみとなります。

交通の ご案内



- JR八代駅から……………車で15分
- バスでお越しの際は八代駅方面から
- 産交バス植柳経由→「南平和町」行き、又は植柳経由→「君ヶ渕」「破木」「坂本駅」行きにお乗りください
- 産交バス「千反町」バス停より徒歩3分
- ゆめバス「病院前」バス停より徒歩3分

スタッフ募集

現在、医師、薬剤師、看護師、准看護師を募集しています。

委細面談

連絡は、事務長 久保、または事務課長 嶋田まで、ご連絡ください。



医療法人 山田会
八代更生病院

〒866-0043 八代市古城町1705

TEL(0965)33-4205

FAX(0965)35-8275

URL <http://www.y-kousei.jp/>

mail info@y-kousei.jp